

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	足利市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	足利市地域文化遺産活性化事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>第7次足利市総合計画（平成28～33年）において、まちづくりの基本的な指針である基本構想では、教育・文化における施策の方向性として、「市民一人ひとりが、生涯を通じて教養と豊かな心を育みながら、文化の薫り高いまちをつくる」ことを目標としている。</p> <p>さらに基本構想を具現化する基本計画の中では、「文化芸術振興を目的とした国補助金を活用し、伝統文化等芸術文化事業の支援を行う」ことを施策としている。具体的には、国補助金等を活用し、足利ゆかりの伝統芸能等芸術文化事業を実施するための支援と子どもたちが気軽に伝統文化にふれられるよう各種教室の開催を支援することが挙げられている。</p> <p>これらの基本構想、基本計画を踏まえ、国の補助金を活用した下記の取組を実施し市民の主体的な芸術・文化活動を支援するための環境を整備するとともに、市民ニーズに対応した事業を実施し、市内外へ情報を発信することを目指す。</p> <p>I 地域文化遺産活性化事業</p> <p>(1) 本堂が国宝の鍔阿寺での足利薪能と足利ゆかりの伝統芸能の上演（毎年実施）</p> <p>(2) 八木節振興に伴うシンポジウム、研修発表会等の開催（毎年実施）</p> <p>※別紙「能と地域のかかわり」「地域に古くから継承されている当該地域に固有の伝統芸能の上演について」参照</p>			
6 実施体制			
<p>本事業については、足利市が全体の計画の企画、調整、事業の指導を行う。</p> <p>主な担当課、役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会文化課：実行委員会運営に関する援助及び文化財の取扱等に関する指導等。 ・都市建設部市街地整備課：鍔阿寺境内で開催される会場使用に関する調整等。また、事業について <p>次の団体が実施する。</p> <p>「足利市地域文化遺産活性化事業実行委員会（委員長：足利市長）」 （構成団体）</p> <p>(1) 足利市 (2) 足利市八木節連合会</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 12,803 千円	平成29年度申請額： 3,331 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>第7次足利市総合計画にのっとり、平成28年度から平成33年度にかけて、市内の文化遺産を舞台に足利ゆかりの一流の古典芸能や地域の伝統芸能を紹介することで、市民が地域の歴史や文化に親しみを持ち、市民一体となって地域の伝統文化継承基盤整備の気運が高り次世代へとつなぐための人材を育成することが期待できる。</p> <p>①足利市の豊かな歴史とともに継承されてきた寺社や史跡など有形の文化遺産とともに、能楽、邦楽、民俗芸能など、無形の文化遺産の価値を市民が再発見し、地域の活性化を図ることができる。</p> <p>②足利発祥の伝統芸能八木節のさらなる普及啓発を図るためシンポジウム、研修発表会をとおして、今後参加者が指導者として、市内の小中学校に出向き、児童・生徒に指導することが期待できる。</p> <p>③各事業で小中高生への参加のみならず広く市民へ積極的に呼びかけることにより、多くの子どもたちに伝統文化に触れる機会を作る。昨年度の参加者の中には若者も多く参加しており、今後事業を企画する側になることも期待することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	足利市教育委員会事務局文化課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	市を代表する文化遺産「史跡足利学校」の年間入場者数			関連事業:	① ②	
目標値 1 :	平成 29 年度	186,000 (人)	⇒	平成 33 年度	194,000 (人)	
設定根拠 1 :						
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	足利薪能					実施団体：	足利能（薪能）実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	<p>室町文化を育んだ足利将軍の父祖足利義兼が創建した鑊阿寺において第一部として能に深い理解を示し保護した足利氏の遺徳を称える伝統芸能を披露する。第二部として同じ舞台上で足利氏ゆかりの日本の代表的伝統芸能の能楽を「薪能」として上演し、このまちに根付く伝統文化を市内外の多くの人に知ってもらい、伝統文化保存継承の意義について認識してもらおう。また、薪能上演に合わせ、市内の小中高校生や初めて能を鑑賞する人に対し、能の観賞方法やこの地で能楽を上演する意義について解説をする「能の講演会」を関連事業（薪能上演の約1か月前）として実施し、伝統芸能の普及啓発に努める。</p>										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	毎年実施される市民アンケートにおいて、文化発信事業の推進（日本遺産・国宝）の満足度										
目標値：	平成 29 年度		3.51		⇒		平成 33 年度		4.00		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
事業②：	八木節振興に伴う研修発表会					実施団体：	足利市八木節連合会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	<p>日本民謡の代表の一つである八木節は、郷土で生まれ私たちが誇れる郷土芸能であり、この八木節の保存及びより一層の普及、技量向上を図るとともに後継者育成に努める。</p> <p>①堀込源太杯 足利八木節競演大会</p> <p>②足利市八木節研修発表会</p>										
評価指標区分：	・フェスティバル出演団体の保存会会員数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	足利市八木節連合会会員数の増加										
目標値：	平成 29 年度		320 名		⇒		平成 33 年度		500 名		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
名	名	名	名	名	名						